

平成24年11月9日(金)

14:00-15:30

会津若松市文化センター

会津若松市城東町14-52 (TEL 0242-26-6661)

伝統と創造



京都ブランド推進連絡協議会（京都府・京都市・京都商工会議所）では、京都の魅力为全国に発信するため、全国主要都市においてブランドフォーラムを開催しています。

今回は『八重の桜』を契機に経済・観光で交流がある会津若松商工会議所と連携して開催し、パネリストのみなさまに両都市の多彩な魅力についてお話いただきます。

<パネリスト>



平田裕一
会津東山温泉 向瀧
代表取締役



市田ひろみ
服飾評論家/
エッセイスト



西村 毅
株式会社象彦
代表取締役社長

<コーディネーター>



赤坂憲雄
福島県立博物館
館長

主催…京都ブランド推進連絡協議会（京都府・京都市・京都商工会議所）
共催…会津若松商工会議所
後援…会津若松市、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社

◆参加費 無料

以下フォームにご記入の上、ファクシミリにてお申込みください。

お申込み・
お問合せ先

会津若松商工会議所

TEL : 0242-27-1212 FAX : 0242-27-1207

貴社・団体名	個人でもお申し込み頂けます		
氏名		氏名	
氏名		氏名	
電話		FAX	

※記載いただいた個人情報は、本フォーラムの実施運営にのみ利用します。

パネリストのご紹介

ひらた ゆういち

平田 裕一氏

会津東山温泉 向瀧 代表取締役

江戸中期から始まり、明治6年に会津藩からゆだねられた温泉宿を、家業経営として存続させている。古さを武器にしているだけではなく、IT活用、経営革新により数々の賞を受賞。メディアにも取り上げられている。「変えてはならないことは変えず、変えなければいけないことは変える」こと、「変わらない向瀧の魅力のために、今日はどこを変えるか」に徹底している。商工会議所などの各種団体や企業研修、日本生産性本部をはじめ各地の生産性本部、サービス生産性本部、経営品質研究会や協議会、経営研究所などコンサルタント会社、経済産業省関連など、意識改革、経営革新について多方面で講演している。

にしむら たけし

西村 毅氏

株式会社象彦 代表取締役社長

（株象彦の創業は寛文元年（1661年）。唐物商「象牙屋」を西村彦兵衛が引きついで「象彦」と号として300余年。世界に日本に「漆」は数々あれども、「京漆器」は高度な技術と洗練された美意識によって独自の境地を生み出している。社長自身、伝統を重んじながらも新しい時代の本物の漆器について日々考えながら提案を続け、「酒・器・食材」の組み合わせを楽しむ利き酒会を開催するなど酒の楽しみ方についての研究も行う。副社長時代には、「おこしやす京都委員会 委員」に就任。2005年より京都漆器工芸協同組合理事を務める。

いちだ

市田 ひろみ氏

服飾評論家・エッセイスト

日本和装師会会長、京都市観光協会副会長。京遊学舎主宰。

講演会で日本中を駆けめぐる傍ら、世界の民族衣裳を求めて膨大なコレクションを持ち、日本各地で展覧会を催す。テレビCMの“お茶のおばさん”としても親しまれる。ブラジル文化功労勲章、経済産業大臣「伝統的工芸品産業功労者表彰」等受賞多数。テレビ朝日「京都迷宮案内」、NHK「おしゃれ工房」等テレビ出演多数。『衣裳の工芸』滅びゆくものを追いかけて（求龍堂）、『はじめてさんの着物塾』（日本放送出版協会）等著書多数。2008年7月G8洞爺湖サミット配偶者プログラムでは詩書と源氏物語を語り、十二単の着付を披露。海外文化交流は104都市にも及ぶ。

あかさか のりお

◆コーディネーター **赤坂 憲雄氏** 福島県立博物館 館長

学習院大学教授。遠野文化研究センター所長。専門は東北文化論と日本思想史。「東北学」を掲げて、地域学の可能性を問いかけてきたが、最近では、あらたな近代思想史へのアプローチの道を探りはじめている。主な著書に、『異人論序説』（ちくま学芸文庫）、『山の世界史』（小学館ライブラリー）、『東西／南北考』（岩波新書）、『岡本太郎の見た日本』（岩波書店）、『東北知の鉅脈』（荒蝦夷）、『三・一から考える「この国のかたち」』（新潮選書）ほか多数。